

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 382

事務事業名	地場企業販売促進力強化支援事業
-------	-----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	商工観光部		
課名	商工振興課		
課長名	高取 和也	内線	240
担当者名	池田 有希	内線	249

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040202	活力ある商工業の振興
施策		商工業経営基盤の強化と創業支援
関連施策		

会計	一般会計		
款	2	総務費	
項	1	総務管理費	
目	17	地方創生推進費	
事業コード	030304	地場企業販売促進力強化支援事業	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業	*	

【PLAN(計画)】

対象(者)	市内中小企業		
誰(何)に対して事業を行うか			
意図	政令指定都市等の大都市圏で開催される展示会やビジネスマッチングに出展することにより、大都市圏の事業者との取引の機会を増やし、販路拡大を図る。		
対象をどのような状態にしたいか			
事業概要	市内に本社を有する中小企業に対し、次のとおり補助を行う。		
意図を達成するために実施することは何か	[補助対象経費] 政令指定都市等の大都市圏で開催される展示会やビジネスマッチングへの出展料及び旅費等 [補助金額] 補助対象経費の1/2(国内上限15万円、国外50万)		
事業期間	平成 28 年度 ~ 平成 30 年度	実施方法	直営、補助
根拠法令、要綱等	大村市中小企業振興基本条例、大村市地場企業販売促進力強化支援事業費補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 補助金交付申請件数	計画値				24	平成28年度事業開始	
		実績値						
	② 販売促進力強化支援補助件数	達成度	%					
		計画値						
成果指標	① 商談件数	計画値				100	平成28年度事業開始	
		実績値						
	② 商談を行った件数	達成度	%					
		計画値						
		実績値						
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	5,000	2,000	2,000	0	9,000
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源				5,000	2,000	2,000		9,000
② 人件費(千円)	0	0	0	860	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)				0.11	補助金の交付	補助金の交付		
時間外勤務(時間)				30				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	0	5,860				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成28年4月から事業を実施した。
事業が抱える問題・課題等	人口が減少するに伴い、商業圏も縮小していく。新たな販路を開拓していくことは、中小企業の抱える課題の一つである。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	国内の人口減少に伴い、経済(市場)の縮小が懸念されるため、市内中小企業の販路を確保・拡大していくための取組が必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	中小企業振興基本条例の理念に基づく中小企業振興施策を実行に移していくため、振興会議などの意見をもとにした中小企業振興施策を策定し推進するものである。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大都市圏で開催される展示会等は、全国から多種多様な企業が参加しており、当該展示会への出展支援は、市内中小企業の販路の確保・拡大策として有効である。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内中小企業が抱える課題・問題の一つを解決し、地場企業の経営基盤の強化に繋げるものである。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	補助率については、1/2としているが、適宜見直しを行う。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
その他の見直し

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	利用者が使いやすい制度になるよう、アンケート等を活用し内容を見直す。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	新たな販路を開拓し、安定した収入が確保できると中小企業の経営基盤が強力になり、安定した企業経営ができるようになる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。